

幕末當時ニ於テ建親シテ居ルモノハナカツタ  
 斯クノ如ク資本主義崩壊期ニ於ケル闘争ハ種々ナ方面カラ考案  
 シ其必然ヲ確信シ此ノ確信ノ上ニ立チ抱擁スベキヲ抱擁シ日本  
 ノ改造ニ向ツテ進マネバナラヌ  
 我等ハ此ノ建前カラ何等秘密ニスベキ必要ハナイ、公然堂々ト  
 擴大強化ヲ進メテ行ツテ抱擁スベキモノハ之ヲ抱擁シ結合ヲ圖  
 メネバナラヌ 慮ヲ奮イテ行クベキ所ハ開ケテ居ルガ先ヅ自己  
 ノ眼ヲ開イガ居ラネバ慮ハ猶ニ小判モ同然デアル  
 此ノ意味ニ於テ自覺自信ノ教育運動ヲ強調スルモノデアル  
 従前ノ理論ハ書物ノ上カラ取ツテ來、之ヲ實際ノ理論デアルカ  
 ノ如ク誤謬シ來ツタガ今日ノ理論ハ現實ノ上カラ把握シタモノ  
 デ之ガ本當ノ理論デアル  
 現在當面スル難關ニ一個ノ見邊シヲ與ヘ日本ノ當面スル現實ヲ  
 具体的ニ把握シ理論ヲ樹テ幅ノ廣イ運動ヲセネバナラヌ 東京

△質問應答

ト並行シテ全國ニ於ケル主流ヲナス大阪ハ現實理論ヲ持ツタ若  
 イ指導者ヲ持チ東京ト相呼應シテ日本ノ改造、政權獲得ニ邁進  
 サレンコトヲ望ムモノデアアル

問 京都 中川彌一郎

「麻生氏ノ話中ニ諸種ノ新興勢力ヲ抱擁云々トアツタガ其ノ新  
 興勢力トハ如何ナルモノヲ指スカ」

答 麻生 久

「結成サレタ勢力デハナイガ軍部ニモ官僚ニモ新興勢力ヲ認メ  
 得ル、

日本ニ於テハ斯ル勢力ガ相當ノ働キヲ持ツモノデ敵ノ陣營中  
 ノ種々ナ力ガ種々ノ材料ヲ提供シ又協力シテ興レル 是ハ眼  
 ヲ開カネバ判ラヌガ是ヲ種々ナ形ニ於テ獲得スルノデアアル」

問 高尾築太郎